

「大胆に御言葉を語る」

2016年03月08日

使徒言行録4章23節～31節。さて二人は、釈放されると仲間のところへ行き、祭司長たちや長老たちの言ったことを残らず話した。これを聞いた人たちは心を一つにし、神に向かって声をあげて言った。「主よ、あなたは天と地と海と、そして、そこにあるすべてのものを造られた方です。あなたの僕であり、また、わたしたちの父であるダビデの口を通し、あなたは聖霊によってこうお告げになりました。『なぜ、異邦人は騒ぎ立ち、／諸国の民はむなしいことを企てるのか。地上の王たちはこぞって立ち上がり、／指導者たちは団結して、／主とそのメシアに逆らう。』事実、この都でヘロデとポンティオ・ピラトは、異邦人やイスラエルの民と一緒にあって、あなたが油を注がれた聖なる僕イエスに逆らいました。そして、実現するようにと御手と御心によってあらかじめ定められていたことを、すべて行ったのです。主よ、今こそ彼らの脅しに目を留め、あなたの僕たちが、思い切って大胆に御言葉を語るができるようにしてください。どうか、御手を伸ばし聖なる僕イエスの名によって、病気がいやされ、しるしと不思議な業が行われるようにしてください。」祈りが終わると、一同の集まっていた場所が揺れ動き、皆、聖霊に満たされて、大胆に神の言葉を語りだした。

最高法院で尋問されたペトロとヨハネは復活した主イエスを力強く証しした。議員たちは二人の証言に圧倒され、また二人を支持する民衆を恐れ、処罰することができず、釈放せざるを得なかった。釈放された二人は仲間の所に帰って来て、最高法院での出来事を報告した。仲間たちは大歓喜して「主よ、あなたは天と地と海と、そして、そこにあるすべてのものを造られた方です」と天と地を創造した神は生きておられると祈った。そして、神の僕であり、イスラエル人の父であるダビデが聖霊によって語ったとする言葉を引用している。それは、詩編2章1節、2節の「なにゆえ、国々は騒ぎ立ち／人々はむなしく声をあげるのか。なにゆえ、地上の王は構え、支配者は結束して／主に逆らい、主の油注がれた方に逆らうのか」の言葉である。地上の王、支配者たちは国々に騒ぎを起こし、空しい声を挙げて、「主の油注がれた方（メシア）」に逆らうと預言している。都エルサレムで、ガリラヤの領主ヘロデ、ローマの総督ピラト、最高法院の議員たちは民衆を巻き込んで、油注がれた聖なる主イエスに逆らい、十字架で殺した。これは、ダビデが預言した通りに、神が御手と御心によって定められていたことが実現したのである。

しかし仲間たちは、最高法院での出来事から、主イエスは旧約聖書で預言されていたように復活し、生きておられると確認し、喜び合った。支配者たちはイエスが復活したという宣教をするなど脅すけれども、大胆に御言葉を語るができるようにしてください。また主イエスの名によって、病気の癒し、しるしと不思議を行う力を与えてくださいと祈り合った。祈り終わると、一同が集まっていた場所は揺れ動き、皆、聖霊に満たされ、大胆に御言葉を語り出した。エルサレム教会は大きな歓喜に包まれていた。

政治的、宗教的支配者たちは、主イエスの愛と真実が体制を壊すと恐れ、十字架で処刑した。世の力が勝利したと宣言した訳である。しかし、主イエスは復活し、愛と真実は生きて働いていることを現された。主イエスの復活は、人間を否定する闇、罪が支配するのではなく、赦されて共に生きよという神の光が支配することを啓示した出来事である。使徒たちは聖霊に導かれ、福音宣教に力強く押し出されていった。